

当院における肝炎ウイルス感染者拾い上げの試み



大阪市立大学大学院
肝胆膵病態内科学
榎本大

背景

- ✓ 肝炎診療の最近の進歩は目覚ましく、肝炎ウイルス感染者は一度は専門医の診断を受けることが望ましい。

ex)

1. HBVについては核酸アナログにより比較的容易にコントロールできるようになった。
2. 非活動性のHBV感染者でも免疫抑制療法の際には再活性化に注意が必要である。
3. C型慢性肝炎については、3剤併用療法により～90%に治癒が望めるようになった。
4. IFNの使えない患者に対しても、近々、経口抗HCV治療が承認される見込みである。

- ✓ 全国で肝炎ウイルス検診が行われているが、そこで判明した陽性者が必ずしも専門科にアクセスしていない、適切な治療を受けていないことが問題となっている。

- ✓ 病院においてさえ感染症スクリーニング検査で判明した肝炎ウイルス感染者が適切に院内連携出来ているか不明である。

対象と方法

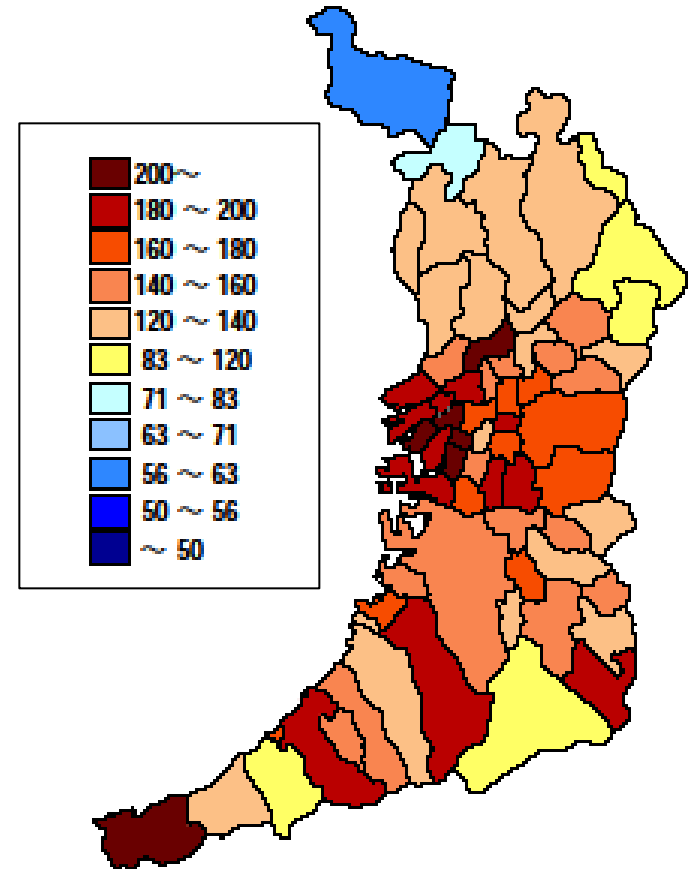
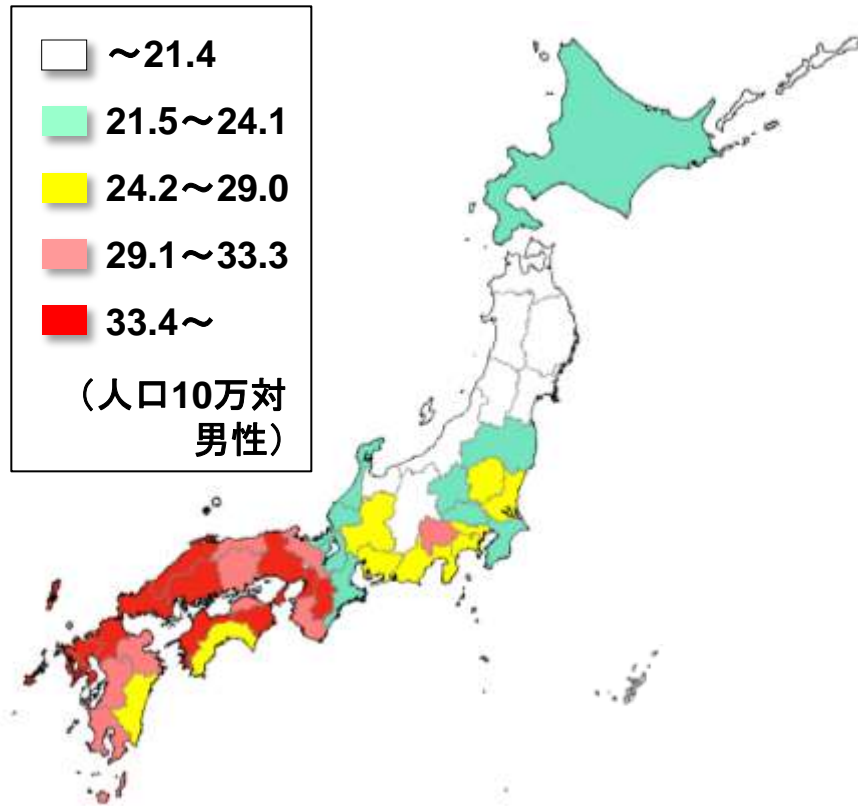
1. 平成24年度の当院における肝炎ウイルスマーカー検査のオーダーの実態と、その結果について調査した。
2. 平成25年4月から、HBs抗原またはHCV抗体陽性者について、以下の「試み」を開始した。
 - i) 電子カルテ上に肝胆膵内科への紹介を促す書き込みをする。
 - ii) 麻酔科術前診察においても肝胆膵内科への紹介を促す。
3. 平成25年4月の「試み」以降、実際に院内紹介が増えたか否か調査した。

大阪市立大学医学部附属病院



**正式名: 公立大学法人
大阪市立大学医学部附属病院**
開設: 大正14年(1925)10月
所在地: 大阪市阿倍野区旭町1-5-7
各線「天王寺」駅より徒歩7分!
受診者: 1日平均2,069名
外来: 31診療科(臓器疾患機能別)
病棟: 24病棟(982床)。救急・ICU含む
職員数: 約1,500名
病院機能評価(Ver.5)の認定取得

都道府県別の肝がん死亡率

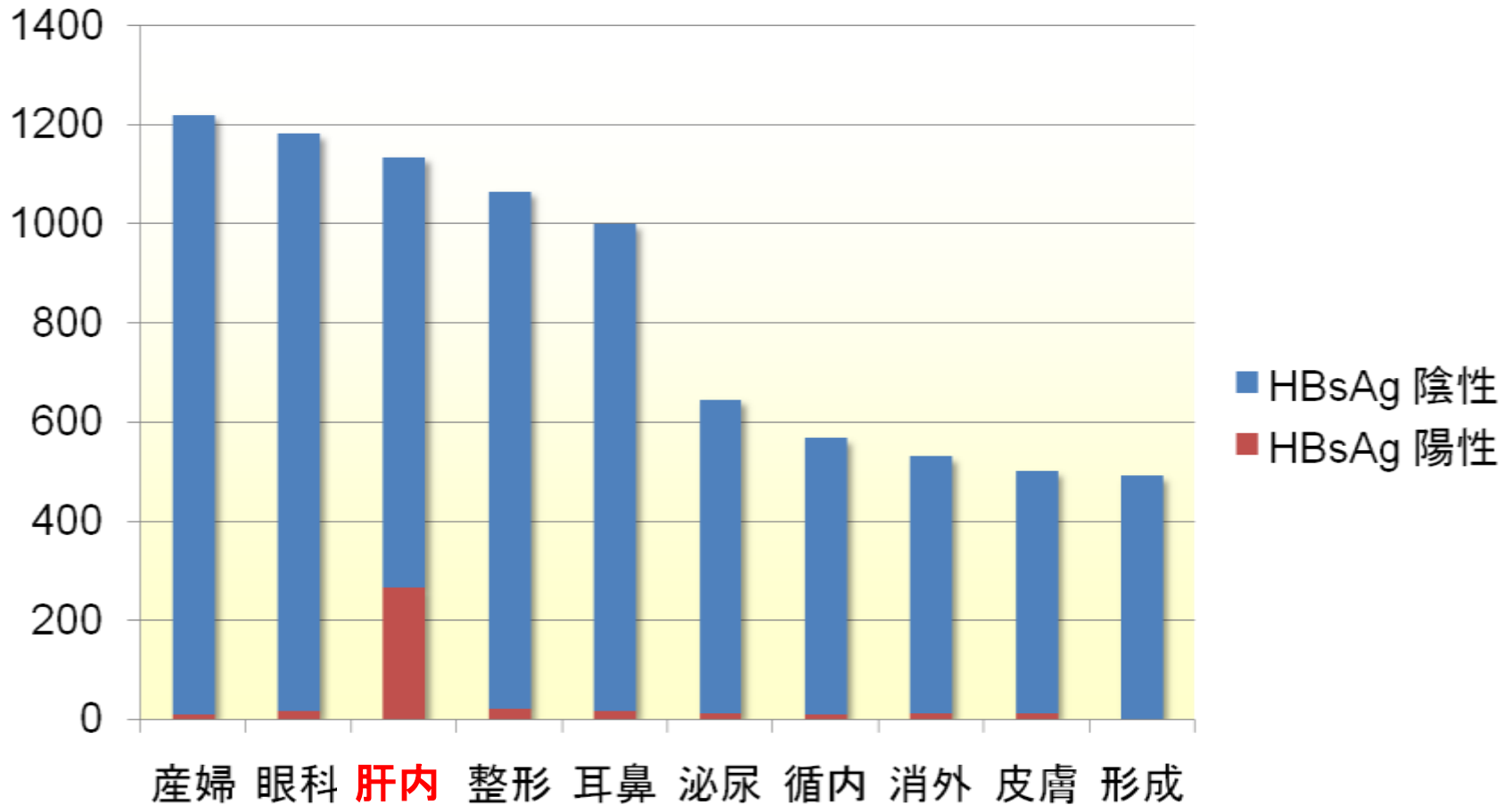


田中 隆ほか:日本臨牀 2004;62(増刊号7):611より作成

Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases 2006

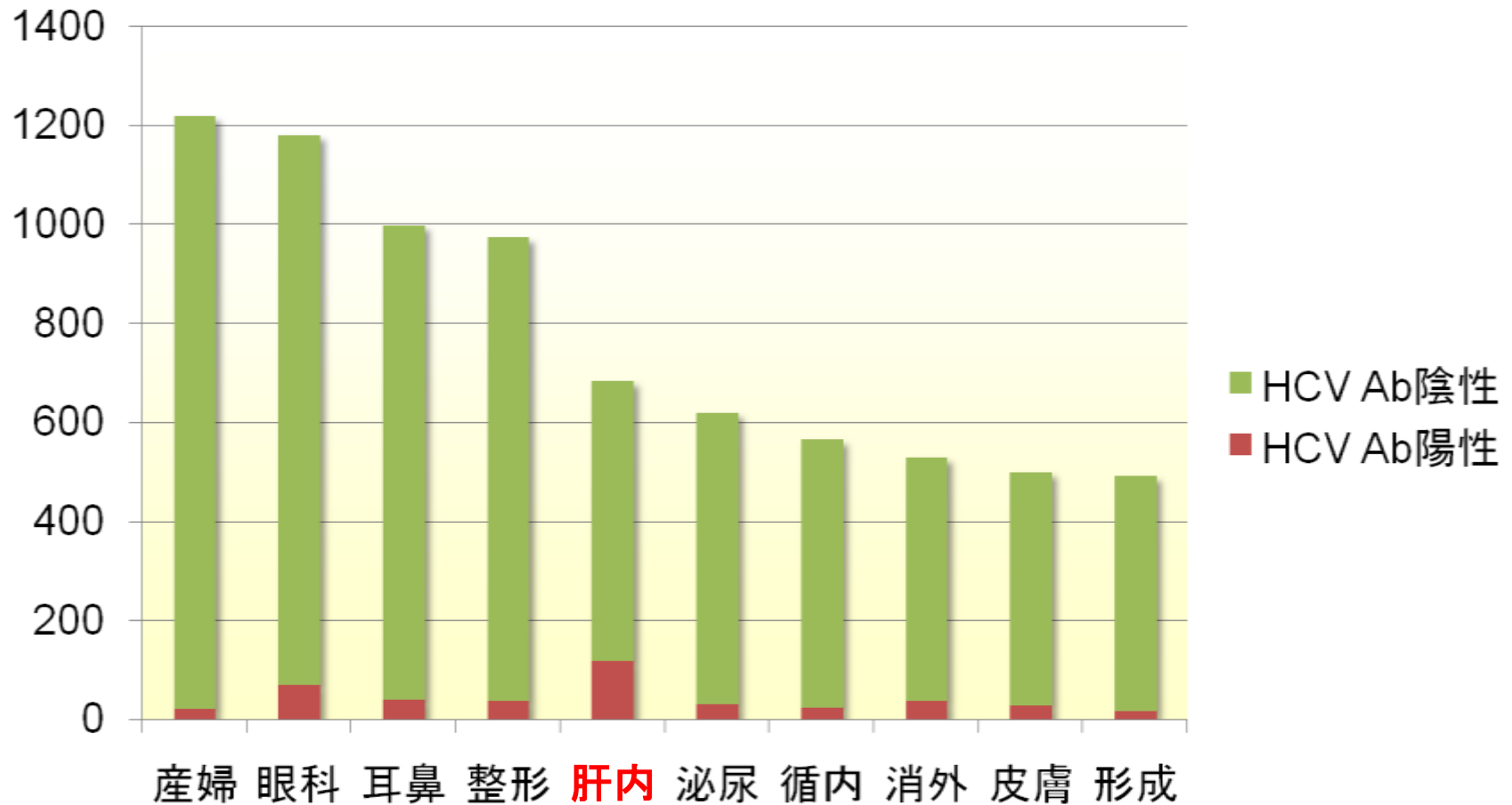
大阪市大病院でのHBsAg測定数

(2012年度, $n=13,004$ 例)



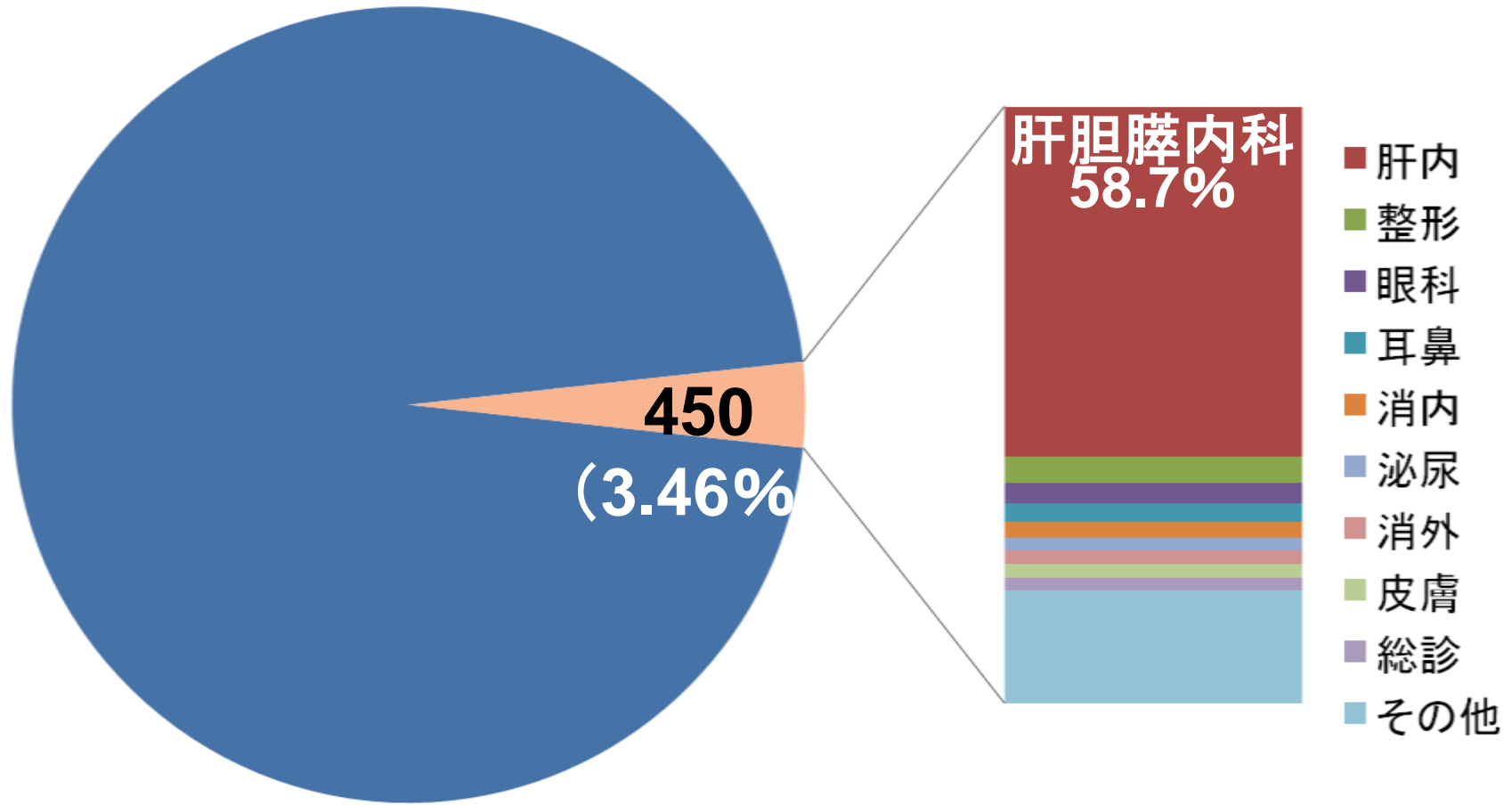
大阪市大病院でのHCVAb測定数

(2012年度, $n=12,374$ 例)



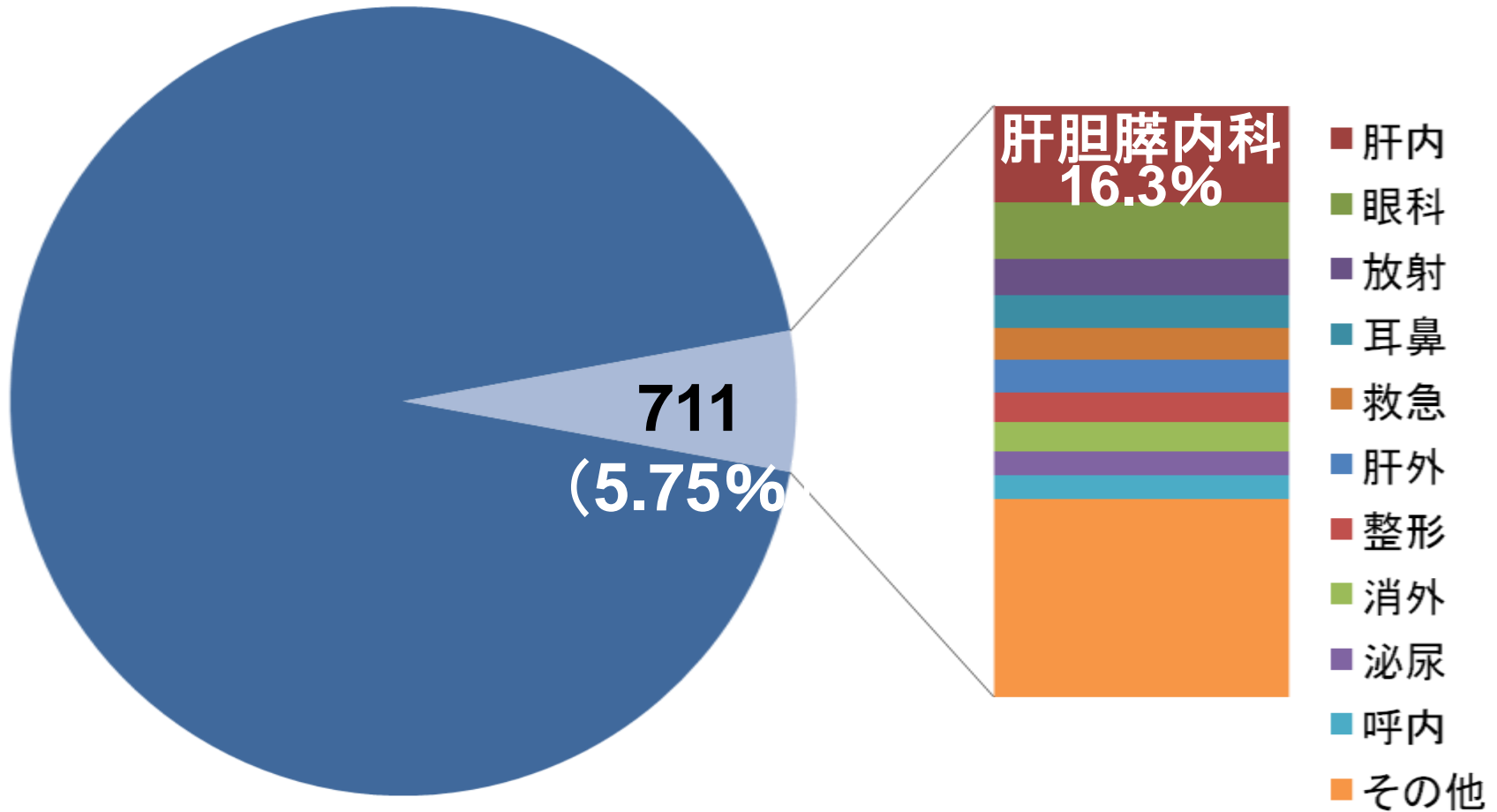
大阪市大病院でのHBsAg測定数

(2012年度, $n=13,004$ 例)



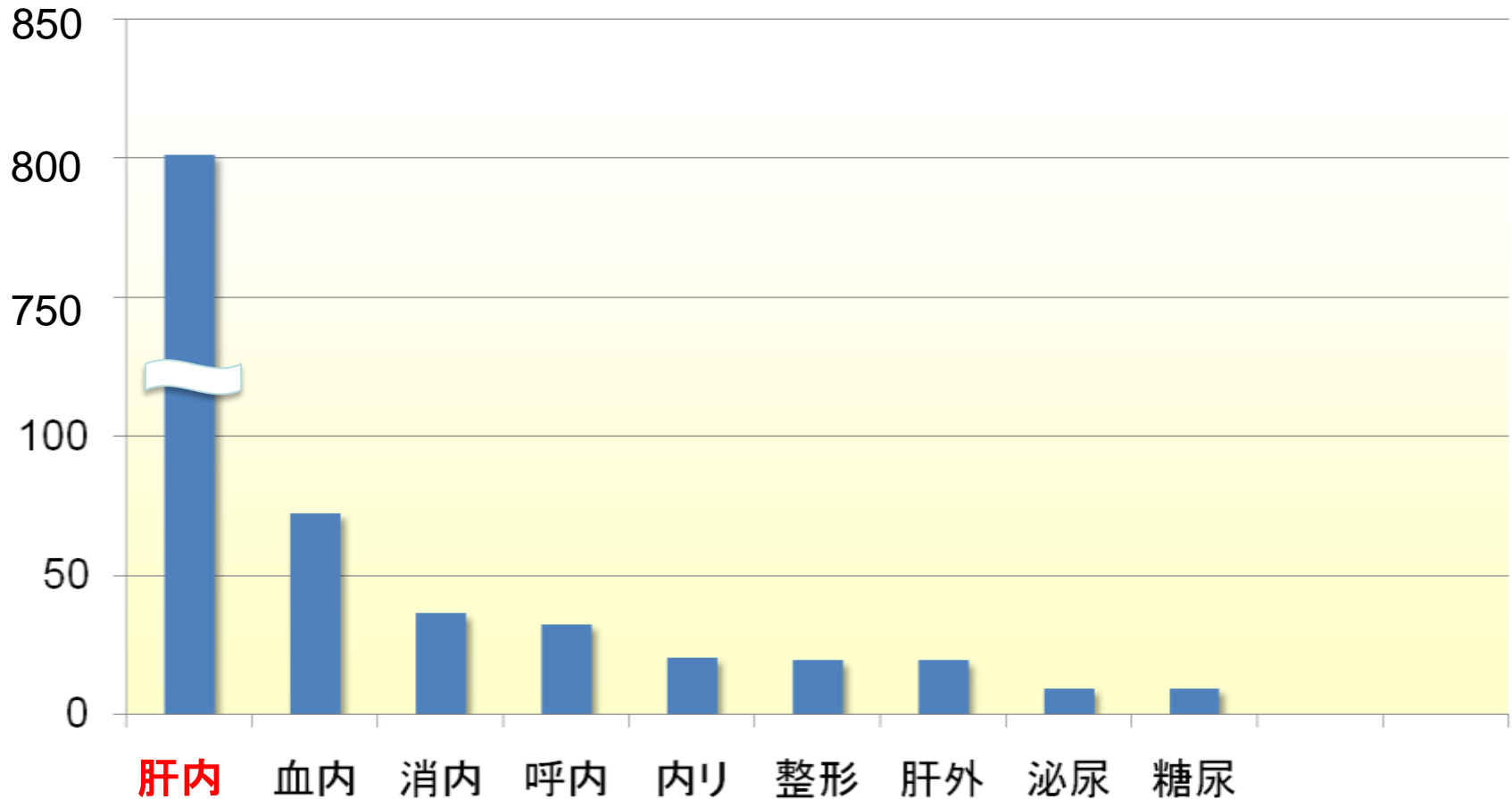
大阪市大病院でのHCVAb測定数

(2012年度, $n=12,374$ 例)



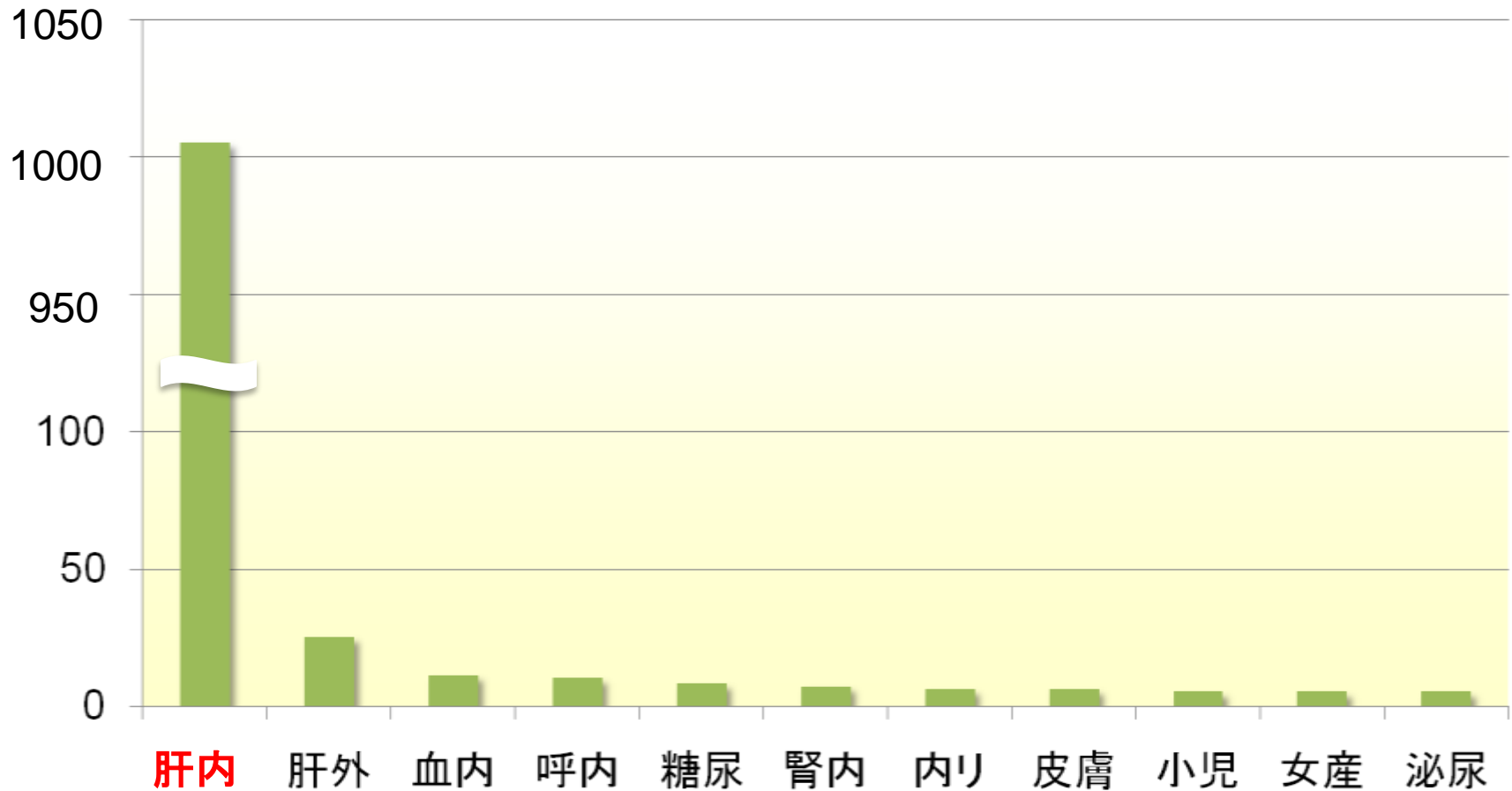
大阪市大病院でのHBV DNA測定数

(2012年度, $n=1,079$ 例)



大阪市大病院でのHCV RNA測定数

(2012年度, $n=1,121$ 例)



電子カルテ上の書き込み

Information Board

□未記入事項
・退院サマリが記入されていません！

□病名

主病名	開始日	診療科

□注意情報

感染症(*)	HBs抗原,HBVコア抗原,PCR
障害情報	視覚障害

□予約情報

予約日時	予約内容	診療科
2013/06/25 09:00~09:15		肝胆内
2013/07/08 10:00~10:10		皮膚科

□他科予約情報

予約日時	依頼元診療科	依頼先診療科	回答状況
2013/05/28 99:99~99:99	皮膚科	肝胆膵内科	回答済

□地域紹介情報

登録日	紹介元医療機関	紹介元診療科	来院報告	回答
2013/05/27		紹介元未登録	未回答	<input type="button" value="回答"/>

□院内紹介

Memo (個人メモ領域)
患者様に対するあなたのメモです。

共有メモ(医師同士)
患者様の情報を記載してください。

伝言メモ
ボードの記録は有効期限後に消失します。診療記録上必要な情報はカルテに複写記載してください。
医師から看護師への指示は伝言メモを使用せず、医師指示を使用してください。
(医師指示→共通→特別指示にフリー入力を追加しました。)

2013/05/28 08:48:19 [Redacted] 有効期限:2013/07/27
主治医殿 本日の検査でHBs抗原陽性と検出されました。肝胆膵内科への院内紹介をご考慮下さい。中央臨床検査部

2013/05/28 08:48:19 [Redacted] 有効期限:2013/07/27
主治医殿 本日の検査でHBs抗原陽性と検出されました。肝胆膵内科への院内紹介をご考慮下さい。中央臨床検査部

HBs抗原陽性
HCV抗体陽性

⇒ 肝胆膵内科受診を考慮していただく

麻酔申し込み要綱の改訂

麻酔申し込み上の注意

肝機能障害の肝胆膵内科コンサルト基準

I. AST \geq 100

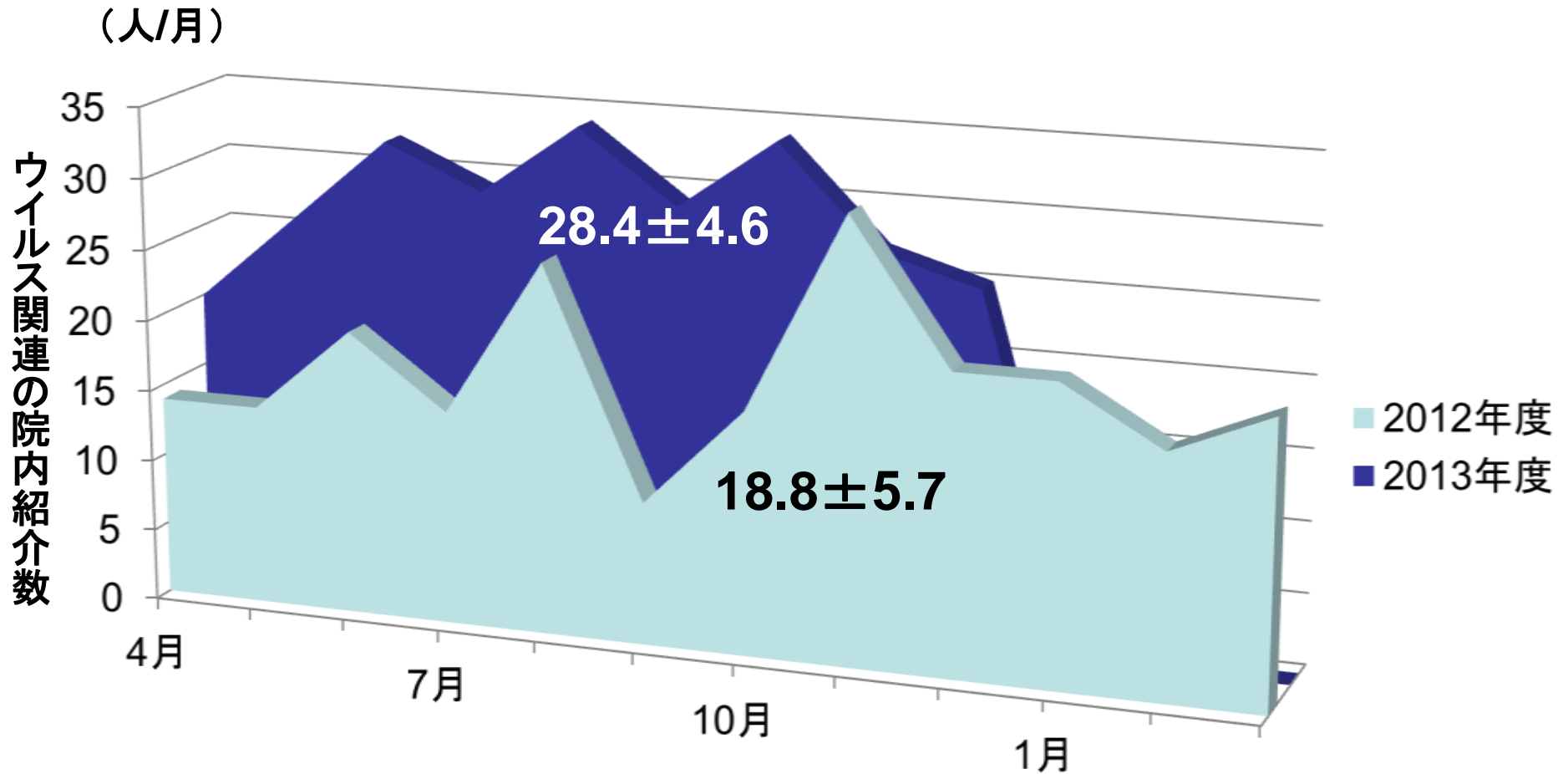
II. ALT \geq 100

III. γ GT \geq 120 (基準値の倍)

IV. 肝機能障害患者の全身麻酔の翌日には肝機能をチェック

V. HCV/HBV陽性で治療の既往が無い場合
(明らかな肝炎症状なければ術後コンサルトでも可)

肝炎ウイルス関連の院内紹介数の推移



まとめ

1. 専門科以外では、HBs抗原またはHCV抗体などのスクリーニング検査は産婦人科、眼科、耳鼻科など外科系診療科で術前検査として行われているものが多かった。HBV DNA、HCV RNAなどの精査は血液内科、呼吸器内科など化学療法を行なう科での施行が多かった。
2. 肝炎ウイルス感染者の専門科への紹介を促す「試み」については、中央検査部や麻酔科の協力もあり、円滑に行われている。
3. 「試み」を開始して以降、専門科への院内紹介数は着実に増加している。今後は紹介患者のどれくらいが治療導入に繋がったかなど、追跡して行く予定である。

